

令和3年度 環境保全報告書

株式会社 ロック・フィールド 神戸ファクトリー

目 次

①当該年度の重点取り組み目標・計画の実施状況

- 省エネルギーの推進
- 廃棄物の削減
- 資源の使用の抑制

②各種対策に係る計画

1) 公害防止対策に関わる報告

目標達成状況と達成のために講じた措置

調査結果

- ばい煙測定値
- 排水

2) 地球温暖化対策

- 1 電気・燃料等の使用結果
- 2 二酸化炭素排出削減目標に対する達成状況

3) 公害防止対策地球温暖化対策以外の環境保全活動にかかわる目標、計画と実施状況

令和3年度 環境保全報告書

株式会社 ロック・フィールド 神戸ファクトリー

①当該年度の重点取り組み目標・計画の実施状況

●省エネルギーの推進

＜目標＞ 電気使用量を抑制する

コロナ禍の影響も徐々に回復の兆しが見え、前年比を上回る生産量増加が目標未達要因となる。
他、夏季期間の平均気温が前年を下回り、空調・冷蔵庫電力使用量の抑制となるものの、
ロングライフ商品の生産増加は全体的な縦伸び稼働となり空調電気使用量が増加となる。

●廃棄物の削減

＜目標＞ 廃棄物(動植物性残渣・廃プラスチック)の廃棄発生を抑制する

前年を上回る生産量増加は、原料納品から製造過程で発生した動植物性残渣量が微量の増加となる。
一方、廃プラスチック問題に全社あげて着手したこともあり、小集団活動成果により前年を大きく下回る結果となる。

●資源の使用の抑制

＜目標＞ 水の使用を抑制する

前年を上回る生産量増加は、製造工程で使用する容器を洗浄する水が増え、又、製品に転化する水も増加となる。

②各種対策に係る計画

1) 公害防止対策に関わる報告

目標達成状況と達成のために講じた措置

	目標達成状況	目標達成の為の措置
大気汚染防止対策 大気汚染防止法の排出基準に関する条例等を遵守する ばい煙発生施設からの排出規制を遵守する 規制を遵守する	測定の結果すべてのばい煙発生施設(ボイラー)の排出が規制値内に収まった (規制値および測定結果は下記参照)	ボイラーを0.65MPaで運転 ばい煙発生施設の巡回 月1回のメーカー点検
水質汚濁防止対策 法令の遵守 非PRTR系物質で構成する薬剤の選択	排水の自主基準値を設定。年間をとおして順調に推移 一部薬剤を残し、非PRTR系物質で構成される薬剤を選択 単位:kg 2020年 9.9 2021年 12.4 前年対比 125.5%	除外施設を適正に維持管理し、定期的に水質測定を実施 2021年度は、清掃方法の見直しもあり一部PRTR系洗剤の増加となる。 排水使用水・時間の短縮・洗浄効果で良好な結果を生む。
廃棄物対策 法令の規制遵守と適正処理 発生量の抑制と再利用の	法令および適正処理に関して遵守できた 単位:kg 2020年 646,058 2021年 658,999 前年対比 102.0%	法令の規制を定期的に確認し遵守につとめる 歩留まり管理 原材料の効率的な活用

※排水にかかわる自主規制値

項目	自主規制値	
PH	5~8	神戸市下水道条例による数値を上回る水質
BOD	180以下	水質使用料徴収の非該当値内
SS	180以下	水質使用料徴収の非該当値内
ノルマルヘキサン	5以下	水質使用料徴収の非該当値内

調査結果

●ばい煙測定値

測定年月日		R3年1月測定	
1月測定値		ダスト濃度	窒素化合物濃度
規制値(猶予中)		0.1g/m ³ 以下	150volppm以下
測定値	ボイラーNO1	0.0019mg/m ³ N未満	25ppm
	ボイラーNO2	0.0019mg/m ³ N未満	23ppm
	ボイラーNO3	0.0019mg/m ³ N未満	24ppm

ボイラー設置届(西宮労働基準監督署)検定番号 No.小 Z 201106

東灘消防署への設置届:蒸気ボイラー-SQ-2000AS×1台

ばい煙発生装置設置届出(神戸市環境局):第4A2016号

●排水

		管理基準値	最大測定値	平均	測定回数	超過した回数	判定
(法令排水環境基準項目設定項目)	PH	5~8	7.5	7.3	38	0	○
	BOD	180以下	140	58.0	38	0	○
	SS	180以下	190	81.0	38	0	○
	ノルマルヘキサン	5以下	4	1.0	38	0	○

2 二酸化炭素排出削減目標に対する達成状況 単位:t-CO2

温室効果ガス	R3年度排出目標	※排出実績
二酸化炭素	電気	3
	ガス	2
	計	4

コロナ禍の影響もあり、減産による環境影響が減る

3) 公害防止対策地球温暖化対策以外の環境保全活動にかかわる目標、計画と実施状況

分野	項目	目標	実施状況
正事処理所等での廃棄物の適	コピー用紙の使用削減	小集団活動による見直し	小集団活動により裏紙使用、両面使用を推進
	作業のペーパーレス化	環境配慮した、FSC認証紙へ変更	スキャナー活用 裏紙活用の推進 データ配信によるペーパーレス化
	適正処理	新規取引先を含めた処理場視察	視察計画に沿って中間処分場の視察を実施(3か所)
	分別	教育による徹底	継続して徹底
再生製品の使用		再生製品の利用率向上	再生製品使用
従業員教育	教育の年間計画策定	計画された教育の実施	実施
	環境に関する外部教育・セミナー参加	2人/年	2人/年
	小集団活動による主体的な取組の推進	重点目標の達成	6項目中2項目で達成
環境管理システムの充実	ISO14001認証継続	活動の改善	改善活動を継続
	内部監査実施	年2回実施	2回
社外のとりくみへの協力	スイーツバイオマスの研究協力	令和8年4月～(検討)	令和2年3月末を持って研究終了